

[個展]

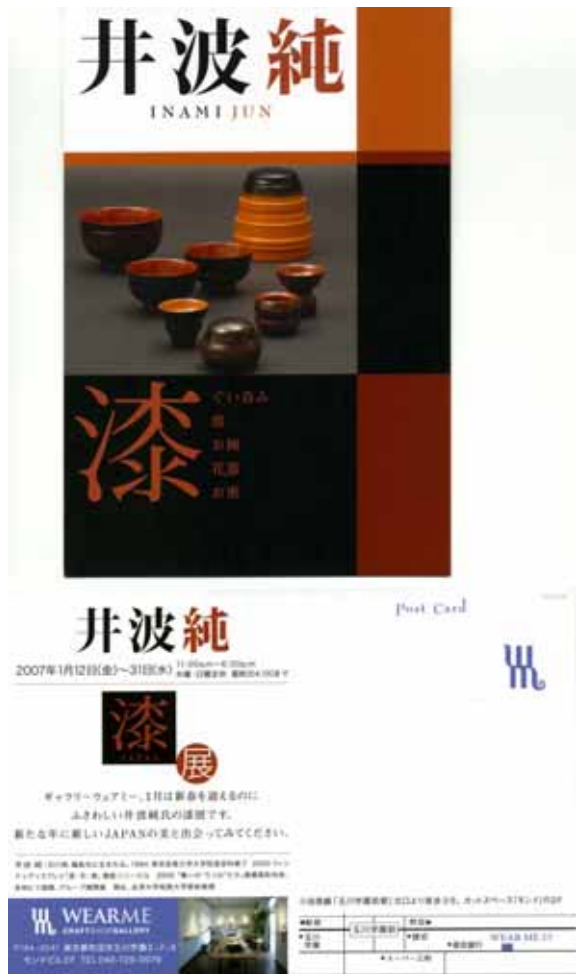
## 「井波 純 漆展」

井波 純

2007年1月12日～1月31日

東京都町田市ギャラリーウェアミー

日常の器を中心に、現代の生活空間の中で新たなエッセンスとなる漆器等の提案を行う。



[グループ展]

## 「酒器展」

井波 純

2007年8月7日～8月29日

東京都町田市ギャラリーウェアミー

観月をテーマとした酒器を、竹見かおる(鍍金)、あずみよしこ(陶芸)、稲葉周子(陶芸)、徳

田吉美（陶芸）、藤原信幸（ガラス）の各作家と共に競作し展示発表を行った。



[講演]

## 「日本の漆と意匠の歴史」

井波 純

2007年4月20日

玉川大学芸術学部（150人）

玉川大学芸術学部ビジュアルアート学科ではデザイン教育の中で様々な観点から幅広い視野を学生に持たせる取り組みが行われている。この講演では、日本の伝統文化が現代のデザイン展開に至るまでどう係わってきたかについて理解することを目的とし、アジア、中でも日本において縄文時代より独特の歩みを続けてきた「漆」という素材について解説し、性質的な特徴、日本という国の中で発展してきた経緯、西洋に与えてきた日本文化の影響等について多くの画像資料をもとに、伝統の重要性、表現素材としての可能性について述べた。

[実技講座]

## 「漆の技に挑戦・南蛮漆器の飾り皿 1・2」

井波 純

2007年11月25日、12月1日

福島県立博物館

福島県立博物館学芸員との共同企画のもと、漆芸技法（螺鈿）の実技講座を行った。博物館が所蔵している安土桃山時代の南蛮漆器を実見しながら、制作された時代背景の関連や文様の意匠や表現技術について学芸員と共に解説し、準備した漆器皿にそれぞれの受講生がデザインを考えた上で貝片を文様状に貼り、南蛮漆器の制作工程を体験する。各工程に於いてそれぞれの作業内容の意味と必要性を解説し、単なる体験講座ではなく日本の漆芸技術に対する理解をより深められるように努めた。